

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | | |
|------------------|---|---|--------|--------|------------------------|-------|--------------|--|
| 基本目標 | 1 男女平等意識の促進 | | | | | 担当課 | アンフォーレ課 No.1 | |
| 施策 | (1) 男女共同参画に関する啓発活動の展開 | | | | | | | |
| 取組 | 男女共同参画に関する図書・DVD等の収集、貸出 | | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 男女共同参画に関する図書や関連雑誌、DVDなどを収集・整備し、貸出を行うことで、市民・団体等の自主的な学習を支援する。 | | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 市民が、女性関連資料を目的とする機会が増え、男女共同参画の認知が深まる。 | | | | | | | |
| 指標 | 女性関連資料の蔵書冊数 | | 指標の出典 | | 図書管理システム「ELCIELO」からの抽出 | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | | |
| 実績 | 2,150冊 | 2,364冊 | 2,464冊 | 2,510冊 | 2,622冊 | | → 2,650冊 | |
| 活動計画 | 引き続き、男女共同参画に関する図書等の情報収集を行い、蔵書の充実と利用の促進に努める。 | | | | | | | |
| 3年度 | 活動実績 | <p>女性関連図書の充実に努めた。 R4.3.31現在の女性関連図書数=2,622冊 (内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 367 (家庭問題全般) =370冊 • 367.0 (女性問題全集等) =65冊 • 367.1 (女性運動・女性論等) =132冊 • 367.2 (女性史等) =830冊 • 367.3 (家族関係等) =783冊 • 367.4 (婚姻・離婚問題等) =265冊 • A367 (女性関連郷土資料) =171冊 • AV資料=6点 <p>上記、女性関連図書の利用に努めた。 男女共同参画の総合情報誌『共同参画』(内閣府・編集／発行、月刊、寄贈)や男性育児雑誌『FQJAPAN』(季刊)を購入し利用に供している。 令和3年度に146冊の図書の購入等を行った。</p> | | | | | | |
| | 課題等 | 男女共同参画に関する図書等の情報収集を行い、計画的に蔵書冊数を増やすことができた。 また、令和3年度は、146冊の図書を購入し、目標値である2,650冊に向けて順調に推移している。 今後も計画的に蔵書冊数を増やしていきたい。 | | | | | | |
| 次年度の活動計画 | | 引き続き、男女共同参画に関する図書等の情報収集を行い、蔵書の充実と利用の促進に努める。 | | | | | | |

B

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | |
|------------------|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------------|
| 基本目標 | 1 男女平等意識の促進 | | | | | 担当課 | 市民協働課 N.o.2 |
| 施策 | (1) 男女共同参画に関する啓発活動の展開 | | | | | | |
| 取組 | 男女共同参画に関する情報発信の充実 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 情報誌の発行や広報誌・ホームページ等への記事掲載を通じ、男女共同参画に関する情報を広く市民に発信する。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | さんかく21・安城と協働して情報誌を発行することで、市民が広く男女共同参画の情報を入手できる。 | | | | | | |
| 指標 | 情報誌の年間発行回数 | | | 指標の出典 | — | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 ＜平成28年度＞ | 2回 | 2回 | 2回 | 2回 | 2回 | 2回 | → 2回 |
| 実績 | 2回 | 2回 | 2回 | 2回 | 2回 | | |
| 活動計画 | 幅広い世代が興味をもつような男女共同参画に関する内容の情報誌を、年2回、さんかく21・安城と協働して発行する。 | | | | | | |
| 活動実績 | 2回（9月、2月）情報誌を発行。小中学校対象に行ったスポーツとジェンダーに関するアンケート結果や、生理の貧困、中学生が作成したジェンダー平等啓発ポスターを掲載した。公共施設にて配布するだけではなく、市公式ウェブサイト、広報紙にも掲載し、広く市民へ啓発した。 | | | | | | |
| 課題等 | 今後も様々な世代等に啓発が必要である。 | | | | | | |
| 次年度の活動計画 | 引き続き幅広い世代が興味をもつような男女共同参画に関する内容の情報誌を、年2回、さんかく21・安城と協働して発行する。 | | | | | | |

A

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | |
|------------------|---|---|-----------------------------------|-------|-------|-------|------------------|
| 基本目標 | 1 男女平等意識の促進 | | | | | 担当課 | 市民協働課 №.3 |
| 施策 | (1) 男女共同参画に関する啓発活動の展開 | | | | | | |
| 取組 | 男女共同参画イベントの開催 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 市民活動団体と市が協働して男女共同参画に関するイベント等を開催する。（週間・月間イベント） | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | さんかく21・安城と協働で開催することで、より市民の視点に沿ったイベント内容となり、多くの市民が男女共同参画の重要性・必要性を認識する。 | | | | | | |
| 指標 | 男女共同参画関連のイベント参加者数 | 指標の出典 | 週間イベント・月間イベント・さんかくカレッジ（セミナー）の参加者数 | | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <平成28年度> 485人 | | | | | | 530人 (357人) |
| 実績 | | 361人 | 425人 | 117人 | 217人 | | |
| 3年度 | 活動計画 | オンライン開催とするため、ウェビナーを利用して視聴環境を改善し、ターゲットとなる年齢層を広げ、より広く周知できるよう検討する。 | | | | | |
| | 活動実績 | <ul style="list-style-type: none"> ・週間イベント：「スポーツをジェンダーの視点でみてみよう」／オンライン講演／参加者 42人 ・月間イベント：「きっと毎日が楽しくなる！心地いい家族のカタチ」／オンライン講演／参加者 62人 ・男女共同参画セミナー：「私だって本当は叩きたくない」／オンライン講演／参加者 113人 | | | | | |
| | 課題等 | Zoomウェビナーを利用することで視聴環境が改善された。オンライン開催することで年齢層が広がったが、オンラインが苦手な方もみえた。 | | | | | |
| | 次年度の活動計画 | 引き続きZoomウェビナー等、視聴環境を考慮した手法で開催し、興味を引く内容にすることで、より広く周知できるように検討する。 | | | | | |
| 目標値変更の根拠 | 月間イベントはへきしんギャラクシープラザでのイベントのため、新型コロナウイルス感染症対策として座席の間隔をあける必要があり、定員502名の50%とする。 (251人) セミナーはオンラインで開催する。令和2年度のオンライン開催は過年度の平均参加者数の84%だったので、基準年度（平成28年度）の週間イベントとセミナーの実績人数の84%を仮の人数とし、それぞれ50人と47人とする。 本来の目標値は基準年度の実績の110%なので、仮人数 $251 + (50+47) * 110\% = 357$ 人とする。 (令和2年度実績より変更) | | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | |
|------------------|--|-------|-------|-------|-------|--------------------|
| 基本目標 | 1 男女平等意識の促進 | | | | | 担当課 市民協働課 N.o.4 |
| 施策 | (2) 男女共同参画に関する学習機会の提供 | | | | | |
| 取組 | 出前講座の実施 | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 市民等の要請に応じ、地域、職場、学校園などにおいて男女共同参画に関する出前講座等を実施する。 | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 参加者が講座を通じ、男女共同参画についての理解を深める。 | | | | | |
| 指標 | 出前講座の実施回数 | | 指標の出典 | | - | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 目標 <平成28年度> | | | | | | 2回 |
| 実績 0回 | 1回 | 1回 | 0回 | 2回 | | |
| 活動計画 3年度 | 新型コロナウイルス感染症による影響を考慮し、市民や市民団体がオンラインでも参加できる出前講座を実施する。 | | | | | 進歩状況 |
| 活動実績 | ユースカレッジと国際ソロブチミスト安城で出前講座を実施。 | | | | | A |
| 課題等 | 依頼者が増えるように、興味を引く内容を検討したり、オンライン開催の環境を整える必要がある。 | | | | | |
| 次年度の活動計画 | 新型コロナウイルス感染症による影響を考慮しながら、市民や市民団体への出前講座を実施する。 | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | | |
|------------------|--|--|-------|-----------------|-------|-------|-----------|---|
| 基本目標 | 1 男女平等意識の促進 | | | | | 担当課 | 市民協働課 №.5 | |
| 施策 | (2) 男女共同参画に関する学習機会の提供 | | | | | | | |
| 取組 | 人材育成のための講座等の開催 | | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 方針・施策決定の場に参画できる女性人材を計画的かつ継続的に育成する。 | | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 受講生が、エンパワーメント講座を通じて、市政へ関心を持ち、様々な分野で意見を提言する場に参画する。 | | | | | | | |
| 指標 | 人材育成講座の受講者数（累計） | | 指標の出典 | エンパワーメント講座の受講者数 | | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | |
| 目標 | <平成28年度> | | | | | | 460人 | |
| 実績 | 327人 | 351人 | 366人 | 381人 | 397人 | | | |
| 活動計画 | 新型コロナウイルス感染症による影響を考慮しながら、若い方と協働して企画運営をし、エンパワーメントを高める講座内容にする。 | | | | | | 進捗状況 | |
| 3年度 | 活動実績 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を図り開催した。 ①人生100年時代の女性のキャリア～女性の今を知ろう～ ②「キャリアの棚卸し」で人生総点検～私の過去を知ろう～ ③心理テストとコミュニケーションで深める自己理解～私の今を知ろう～ ④思いを実現した女性たち～ゲストと体験を共有しよう～ ⑤私ならではのキャリアビジョン～私の未来を描こう～ ⑥宣言！私のアクションプラン～前に向かって一步を踏み出そう～ 全6回実施。／名古屋学院大学 安藤りか氏 | | | | | | B |
| | 課題等 | 若い方と協働して企画運営し、講座後の市政に参画してもらえるように促す必要がある。 | | | | | | |
| 次年度の活動計画 | 若い方と協働して企画運営し、エンパワーメントを高める講座内容にする。 | | | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | |
|------------------|---|-------|-------|-------|--------------------------|--------------------|
| 基本目標 | 1 男女平等意識の促進 | | | | | 担当課 市民協働課 N o.6 |
| 施策 | (2) 男女共同参画に関する学習機会の提供 | | | | | |
| 取組 | 市役所職員への男女共同参画研修の実施 | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 男女共同参画への意識を高めるため、市職員の研修を実施する。 | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 市職員が自らワーク・ライフ・バランスを実践すると、男女共同参画の視点を踏まえた業務遂行をするようになる。 | | | | | |
| 指標 | 市職員の男女共同参画研修参加者数 | | | 指標の出典 | DV・LGBT職員研修、新規採用職員研修受講者数 | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 目標 | <平成28年度> 43人 | | | | | 85人 |
| 実績 | | 169人 | 152人 | 199人 | 201人 | |
| 活動計画 | 引き続きDV及びLGBTの理解をすすめるため職員研修、新規採用職員に研修を実施する。 | | | | | |
| 活動実績 | ①DV職員研修参加者（53人）「DVの基礎知識」／具 ゆり 氏（ウィメンズカウンセリング名古屋YWCA） ②LGBT職員研修参加者（84人）「LGBTの基礎知識及びライフヒストリーなど」／特定非営利活動法人ASTA ③新規採用職員研修参加者（64人） | | | | | |
| 課題等 | さらに多くの職員に参加してもらえるように、参加を促す必要がある。 | | | | | |
| 次年度の活動計画 | 引き続きDV及びLGBTの理解をすすめるため職員及び教職員、新規採用職員に研修を実施する。 | | | | | |

A

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | | |
|------------------|--|-------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-----|-----------|
| 基本目標 | 2 若年者への男女平等意識の定着 | | | | | | 担当課 | 保育課 N.o.7 |
| 施策 | (1) 学校等における教育機会の充実 | | | | | | | |
| 取組 | 保育者への男女共同参画研修の実施 | | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 園長・所長を対象に、男女共同参画に関する研修を実施し、男女平等への理解を深める。 | | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 保育者が男女共同参画社会基本法の基本理念を理解することができる。 | | | | | | | |
| 指標 | 保育者研修会の参加人数 | | | 指標の出典 | - | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | |
| 目標 | <H28年度> 32人 | | | | | | | 32人 |
| 実績 | | 27人 | 27人 | 32人 | 32人 | | | |
| 3年度 | 活動計画 | 園長への研修を継続して行う。 | | | | | | 進捗状況 |
| | 活動実績 | 1月に園長を対象に、研修を行った。 | | | | | | A |
| | 課題等 | 各園の保育士の意識が高まるように、今後も啓発していくことが必要である。 | | | | | | |
| 次年度の活動計画 | | 園長への研修を継続して行う。 | | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | |
|------------------|---|-------|---------------|--------|--------|-------|------------|
| 基本目標 | 2 若年者への男女平等意識の定着 | | | | | 担当課 | 学校教育課 No.8 |
| 施策 | (1) 学校等における教育機会の充実 | | | | | | |
| 取組 | 学校等における男女共同参画に関する教育の実施 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 学校等において、男女平等意識を浸透させるための学習を推進する。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 児童・生徒が、男女の違いを知るとともに、お互いを理解し合おうと努めていく気持ちを育てる。 | | | | | | |
| 指標 | 「道徳」「学活」「総合」「保健」「人権教育」の授業で男女共同参画の学習を行った学級数 | 指標の出典 | 小中学校の担任の報告による | | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | → すべての学級 |
| 実績 | 一 | 421学級 | 451学級 | すべての学級 | すべての学級 | | |
| 活動計画 | 授業や学校行事等で育んだ男女間の違いや特性、個性を尊重する心を学校生活にいかしながら、学校生活を送ることができるようとする。 | | | | | | 進捗状況 |
| 3年度 活動実績 | 保健や保健体育、道徳の授業や学校行事等を通して男女間の違いや特性、個性を尊重する心を育みながら、学校生活に生かせるような取り組みを実践した。 | | | | | | A |
| 課題等 | 発達段階を踏まえ系統的・計画的に男女間の違いや特性、個性を尊重する心を育みながら、学校生活に生かすことができる取り組みを継続させる必要がある。 | | | | | | |
| 次年度の活動計画 | 発達段階を踏まえながら男女間の違いや特性、個性を尊重する心を育み、学校生活に生かすことができるようとする。 | | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | |
|------------------|---|--------|--------|--------|-------|--------------|------------|
| 基本目標 | 2 若年者への男女平等意識の定着 | | | | | 担当課 市民協働課 | 市民協働課 No.9 |
| 施策 | (1) 学校等における教育機会の充実 | | | | | | |
| 取組 | 生徒に対するDV防止に向けた情報提供・啓発の実施 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 生徒向けにデートDVに関する内容のリーフレットなどを作成・配布し、周知を行う。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 生徒が男女共同参画を含めたDVについて認識するようになる。 | | | | | | |
| 指標 | リーフレット等の配布数 | | 指標の出典 | | - | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 <平成28年度> | 1,951枚 | | | | | | → 2,000枚 |
| 実績 | 3,808枚 | 5,148枚 | 3,725枚 | 3,501枚 | | | |
| 活動計画 | デートDV防止やLGBTのリーフレットを作成し、引き続き市内全中学3年生に配布し啓発する。 | | | | | | 進捗状況 |
| 活動実績 3年度 | ①「ありのままのわたし、大切なあなた」のリーフレットに、デートDV、LGBT及びジェンダー指数の記事を掲載し、市内全中学3年生（1,842人）に配布した。 ②「知っていますかLGBT」のリーフレットを作成し、3歳児保護者（1,659人）に配布した。 | | | | | | A |
| 課題等 | どのような内容を掲載するとよいのか検討する必要がある。 | | | | | | |
| 次年度の活動計画 | 現状に合ったデートDV防止やLGBTのリーフレットを作成し、市内全中学3年生と3歳児保護者に配布し啓発する。 | | | | | | |

※年少児保護者への配布を幼稚園・保育園に依頼していたが、健康推進課から3歳児保護者に送付している予防接種通知書に同封する方法に切り替えた。（令和元年度～）

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | | |
|------------------|---|--|-------|-------|-------|-------|------------|------|
| 基本目標 | 2 若年者への男女平等意識の定着 | | | | | 担当課 | 学校教育課 No.9 | |
| 施策 | (1) 学校等における教育機会の充実 | | | | | | | |
| 取組 | 生徒に対するDV防止に向けた情報提供・啓発の実施 | | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 生徒向けにデータDVに関する内容のリーフレットなどを作成・配布し、周知を行う。 | | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 生徒が、交際をしている同士が平等であるという観点に立ち、交際相手の人権を尊重した考え方をもてるようになる。 | | | | | | | |
| 指標 | | | | 指標の出典 | — | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | | |
| 実績 | | — | — | — | — | | | |
| 3年度 | 活動計画 | 国や県の通知等から、生徒向けデータDVに関する情報を精査し、各校へ周知する。 | | | | | | 進捗状況 |
| | 活動実績 | 国や県の通知等から、生徒向けデータDVに関する情報を精査し、各校へ周知した。 | | | | | | B |
| | 課題等 | 今後も各校への周知を継続させる必要がある。 | | | | | | |
| 次年度の活動計画 | | 国や県の通知等から、生徒向けデータDVに関する情報を精査し、各校への周知を継続する。 | | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | |
|------------------|--|--|-------|-------|---------|-------|-------------|
| 基本目標 | 2 若年者への男女平等意識の定着 | | | | | 担当課 | 学校教育課 No.10 |
| 施策 | (1) 学校等における教育機会の充実 | | | | | | |
| 取組 | 教育現場におけるLGBTへの対応 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 教育現場において性的少数者（LGBTなど）に対する理解を深めるための啓発や研修機会の提供を行う。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 教職員が、性的少数者（LGBTなど）に対する理解を深めることができる。 | | | | | | |
| 指標 | LGBTに関する啓発実施率 | | | 指標の出典 | 各校からの報告 | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | 85%以上実施 |
| 実績 | 一 | 65% | 70% | 70% | 79% | | |
| 3年度 | 活動計画 | パンフレット等による啓発に加えて、研修会への積極的な参加を働きかけながら、性的少数者（LGBT等）に対する理解を深めるための啓発を継続させる。 | | | | | |
| | 活動実績 | パンフレットによる啓発に加え、長期休業中に研修会を計画し、役職者及び養護教諭と希望者を対象にして、性的少数者（LGBT等）に対する理解を深めた。 (教職員約1,000名中、産育休等の休職者を除く700名にパンフレットによる啓発を実施すると共に、教務主任、校務主任、養護教諭、希望者の91名が研修会に参加した。) | | | | | |
| | 課題等 | パンフレット等による啓発に加えて、計画的に研修会を位置づけ、より多くの教職員に対して積極的な参加を働きかけながら、性的少数者（LGBT等）に対する理解を深めるための啓発を継続する必要がある。 | | | | | |
| | 次年度の活動計画 | パンフレット等による啓発に加えて、研修会への積極的な参加を働きかけながら、性的少数者（LGBT等）に対する理解を深めるための啓発を継続させる。 | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | |
|------------------|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------------|
| 基本目標 | 2 若年者への男女平等意識の定着 | | | | | 担当課 | 学校教育課 No.11 |
| 施策 | (2) 思いやり、認め合う意識の醸成 | | | | | | |
| 取組 | 思春期保健の推進 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 学校などが行う学童期・思春期の発達段階に応じた保健教育を支援する。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 教職員が、男女の成長期における違いを正しく理解するとともに、違いを認めつつ互いに理解し合おうとする意識の向上を図る。 | | | | | | |
| 指標 | — | | | 指標の出典 | — | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | — | — | — | — | |
| 実績 | — | | — | — | — | — | |
| 活動計画 | 男女の成長期における違いを理解するとともに、違いを認めようとする意識の向上を図る。 | | | | | | |
| 3年度 活動実績 | 保健の授業や保健体育の授業において、男女の成長期における違いを理解するとともに、違いを認めようとする意識の向上を図った。 | | | | | | |
| 課題等 | 養護教諭を活用するなど、男女の成長期における違いを理解するとともに、違いを認めようとする意識の向上を図る必要がある。 | | | | | | |
| 次年度の活動計画 | 養護教諭を活用しながら、男女の成長期における違いを理解するとともに、違いを認めようとする意識の向上を図る。 | | | | | | |

A

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | |
|------------------|---|---|-------|-------|-------|-------|-------------|
| 基本目標 | 2 若年者への男女平等意識の定着 | | | | | 担当課 | 健康推進課 No.11 |
| 施策 | (2) 思いやり、認め合う意識の醸成 | | | | | | |
| 取組 | 思春期保健の推進 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 学校などが行う学童期・思春期の発達段階に応じた保健教育を支援する。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 子どもたちが、受け継がれた命、大切に育てられてきた自分を感じることにより、命の大切さを知ること、また人生設計が望まない変更とならないように、「性」についての正しい知識を知る。 | | | | | | |
| 指標 | 講師派遣及び物品貸し出し件数 | | 指標の出典 | | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> 47件 | | | | | | 50件 |
| 実績 | | 41件 | 56件 | 29件 | 34件 | | |
| 活動計画 | 思春期保健に関する啓発の機会を増やせるよう、学校教育課や各中学校の養護教諭等と協力していく。 | | | | | | 進捗状況 |
| 3年度 | 活動実績 | 小中学校を中心に講師派遣を30回、物品貸し出しを4回行った。また、思春期保健に関する啓発をするため、長期休暇前に小学5、6年生及び中学生を対象にチラシを配布した。 | | | | | |
| | 課題等 | 新型コロナウイルスの影響があり、講師派遣依頼が令和2年度よりは増えたものの、まだコロナ前より少ない。 | | | | | |
| 次年度の活動計画 | 思春期保健に関する啓発の機会を増やせるよう、引き続き、学校教育課や各中学校の養護教諭等と協力していく。 | | | | | | |

※生徒集会の機会が少ないと実績が増えにくかった。

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | |
|------------------|--|--|--------|--------|-------|--------------------|
| 基本目標 | 2 若年者への男女平等意識の定着 | | | | | 担当課 子育て支援課 No12 |
| 施策 | (2) 思いやり、認め合う意識の醸成 | | | | | |
| 取組 | 赤ちゃん出会い・ふれあい交流事業の推進 | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 命の大切さを学ぶことで、人権意識を認識し、思いやりの意識を醸成する機会として、小中学生を対象とした赤ちゃん講座を開催し、小中学生と乳幼児がふれあう機会を設ける。 | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 小中学生が、赤ちゃんとふれあい、関わることによって様々なことを感じたり考えたりしながら思いやりや命を大切にするようになる。 | | | | | |
| 指標 | 児童センターの赤ちゃん出会い・ふれあい交流事業の参加人数 | | | 指標の出典 | — | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 目標 | <H28年度> | 840人 | 735人 | 1,438人 | 0人 | 0人 |
| 実績 | | 840人 | → 840人 | | | |
| 3年度 | 活動計画 | 児童センター9か所（赤ちゃん講座、沐浴・育児・妊婦体験等）で、新型コロナウィルス感染症の感染状況等をみながら、実施する。 | | | | |
| | 活動実績 | 新型コロナウィルス感染症対策のため、未実施。 | | | | |
| | 課題等 | 新型コロナウィルス感染症により、赤ちゃんとふれあいをすることができない。 | | | | |
| | 次年度の活動計画 | 児童センター9か所で、新型コロナウィルス感染症の感染状況等をみながら、赤ちゃん講座（沐浴・育児・妊婦体験等）を実施する。 | | | | |

※直接的なふれあいは難しいので、赤ちゃん講座の中でふれあい以外の交流が実施できるよう検討する。

D

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | |
|------------------|---|---|---------------------------|-------|-------|-------------------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 市民協働課 N.13 |
| 施策 | (1) 女性のエンパワーメントへの支援 | | | | | |
| 取組 | 各種審議会等における女性委員の増加に向けた取組 | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 各種審議会等における女性委員の割合を増やし、方針・政策決定の場への女性の参画を進める。 | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 女性が審議会等に参加することで、方針・政策決定の場に女性の意見が述べられるようになる。 | | | | | |
| 指標 | ① 法律・条例により設置される審議会等の女性委員の割合 | | 指標の出典 安城市における審議会等の状況調査 | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 目標 | <平成28年度> 27.4% | | | | | 30.4% |
| 実績 | 29.9% | 30.9% | 31.6% | 31.4% | | |
| 3年度 | ② すべての審議会等における女性委員の割合 | | 指標の出典 安城市における審議会等の状況調査 | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 目標 | <平成28年度> 28.2% | | | | | 33% |
| 実績 | 30.9% | 31.7% | 33.0% | 33.4% | | |
| 活動計画 | 引き続き年4回審議会等の女性委員調査を実施する。次年度に改選予定で目標値に満たない審議会等の所管課へヒアリングを実施し、女性委員の登用を促す。 | | | | | |
| 3年度 | 活動実績 | 年4回審議会等の女性委員調査を実施。 次年度改選予定で目標値に満たない審議会等の所管課（8課）へヒアリングを実施し、女性委員の登用促進をした。 ①法律・条例により設置される審議会等（女性委員の割合：女性委員178人／委員総数566人） ②すべての審議会等（女性委員の割合：女性委員367人／委員総数1,098人） | | | | |
| | 課題等 | 女性率が改善した審議会等でも、あて職や公募による市民が男性しかいないなどの理由により、悪化してしまうことがある。 | | | | |
| | 次年度の活動計画 | 年2回審議会等の女性委員調査を実施。次年度に改選予定で目標値に満たない審議会等の所管課へヒアリングを実施し、女性委員の登用を促す。 所管課が女性登用促進の意識を高めるよう、調査時に促す。 | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | | |
|------------------|---|---|--------|-------|-------|-------|------------|--|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 市民協働課 N.14 | |
| 施策 | (1) 女性のエンパワーメントへの支援 | | | | | | | |
| 取組 | 女性の人材リスト等の整備 | | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | エンパワーメント講座修了生や地域で活躍する人を人材リストへ登載し、審議会等への登用をPRする。 | | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 人材育成講座修了生等が人材リストへ登録することで、様々な審議会等に参加することができるようになる。 | | | | | | | |
| 指標 | 市民参加パートナーバンクの登録者数（累計） | | | 指標の出典 | - | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | |
| 目標 | <平成28年度> | | → 202人 | | | | | |
| 実績 | 172人 | 184人 | 185人 | 189人 | 200人 | | | |
| 活動計画 | 引き続きエンパワーメント講座・ユースカレッジ・シルバーカレッジ・県男女共同参画人材育成講座の修了生へ人材リストへの登載依頼をする。 | | | | | | | |
| 3年度 | 活動実績 | エンパワーメント講座・ユースカレッジ・シルバーカレッジの修了生へ人材リストへの登載依頼をした。 | | | | | | |
| | 課題等 | 講座修了生のうちパートナーバンクへ登録していただける人が少ない。 | | | | | | |
| | 次年度の活動計画 | 引き続きエンパワーメント講座・ユースカレッジ・シルバーカレッジ・県男女共同参画人材育成講座の修了生へ人材リストへの登載依頼をする。 | | | | | | |

B

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | | |
|------------------|--|--|-------|-------|-------------------------------|-------|-------------|------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 市民協働課 No.15 | |
| 施策 | (1) 女性のエンパワーメントへの支援 | | | | | | | |
| 取組 | 女性の人材育成のための研修・講座への派遣 | | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 女性リーダーを育成するため、県などが行う研修会や講座へ市民を派遣する。 | | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 県などが開催する研修会等へ参加した市民が、女性リーダーに必要な知識・見識を得る。 | | | | | | | |
| 指標 | 研修会等派遣者数（累計） | | | 指標の出典 | 県男女共同参画人材育成講座及び日本女性会議等への市民派遣数 | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | |
| 目標 | <平成28年度> 25人 | 29人 | 29人 | 30人 | 36人 | 43人 | | |
| 実績 | | | | | | | | |
| 3年度 | 活動計画 | 県の主催するオンライン講座に参加してもらい、引き続き県男女共同参画人材育成講座及び日本女性会議等へ市民派遣する。 | | | | | | 進捗状況 |
| | 活動実績 | 地域における男女共同参画推進リーダー研修 3人 県男女共同参画人材育成講座 1人 日本女性会議（甲府市）へ市民団体 1人、公募市民 1人 | | | | | | B |
| | 課題等 | 受講者が男女共同参画推進活動を継続できるよう、活動の場を案内する必要がある。 | | | | | | |
| 次年度の活動計画 | | 引き続き県男女共同参画人材育成講座及び日本女性会議等へ市民派遣し、受講者に活動の場を案内する。 | | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | |
|------------------|---|--|-------|-------|-------|-------|--------------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 生涯学習課 N o.15 |
| 施策 | (1) 女性のエンパワーメントへの支援 | | | | | | |
| 取組 | 女性の人材育成のための研修・講座への派遣 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 女性リーダーを育成するため、県などが行う研修会や講座へ市民を派遣する。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 女性が、エンパワーメントに対する意識、知識を高めることで、性別に関わりなくその個性と能力を発揮することができるようになる。 | | | | | | |
| 指標 | 研修会等派遣者数(累計) | | 指標の出典 | | - | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | → 6人 |
| 実績 | | 4人 | 16人 | 16人 | 27人 | | |
| 活動計画 | 開催されるものがあれば、引き続き研修・講座へ女性リーダーを派遣する。 | | | | | | 進捗状況 |
| 3年度 | 活動実績 | 県PTA連絡協議会や家庭教育推進協議会の研修会等に女性に出席していただいた。(11人) | | | | | |
| | 課題等 | 女性のみを対象にした研修会は少ないので、参加者を募る際に女性のみに声をかけることができず、女性の出席が難しい場合がある。 | | | | | |
| 次年度の活動計画 | | 次年度も女性がエンパワーメントに対する意識、知識を高めることができる研修会や講座へ市民を派遣する。 | | | | | |

A

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | | |
|------------------|---|--|-------|-------|-------|-------|-------------|--|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 市民協働課 No.16 | |
| 施策 | (1) 女性のエンパワーメントへの支援 | | | | | | | |
| 取組 | 誰もが学べる環境の整備 | | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 講座等の開催において託児の実施を行うなど、誰もが学びの場へ参加しやすい環境を整備する。 | | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 育児中の女性等が、安心して講座等に参加できる。 | | | | | | | |
| 指標 | 託児付講座数 | | 指標の出典 | | - | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | |
| 目標 | <平成28年度> 5講座 | 5講座 | 5講座 | 3講座 | 4講座 | → 7講座 | | |
| 実績 | | | | | | 進捗状況 | | |
| 3年度 | 活動計画 | 新型コロナウィルス感染症による影響を考慮して、託児の実施を検討する。 また、子育て中でも参加しやすいオンライン講座を検討する。 | | | | | D | |
| | 活動実績 | ①男女共同参画週間イベント ②エンパワーメント講座 ③男女共同参画月間イベント ④男女共同参画セミナー ①、③、④はオンライン開催のため託児がなかったが、育児中でもオンラインなら参加しやすいと解釈し、4講座とした。 | | | | | | |
| | 課題等 | 新型コロナウィルス感染症の影響でオンライン開催としているので、託児の実施が難しい。 | | | | | | |
| 次年度の活動計画 | | 新型コロナウィルス感染症拡大防止対策を図り、託児の実施を検討する。 また、子育て中でも参加しやすいオンライン講座を検討する。 | | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | |
|------------------|---|--|------------|-------|--------|-------|
| 34 | 3 男女共同参画社会の実践 | 担当課 | 生涯学習課 №.16 | | | |
| 施策 | (1) 女性のエンパワーメントへの支援 | | | | | |
| 取組 | 誰もが学べる環境の整備 | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 講座等の開催において託児の実施を行うなど、誰もが学びの場へ参加しやすい環境を整備する。 | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 女性が学びの場へ参加しやすい環境を整えることにより、ひとつくり、地域づくり等における知識・技能を向上することができる。 | | | | | |
| 指標 | 託児付講座数 | 指標の出典 | — | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 目標 | <H28年度> | | | | → 30講座 | |
| 実績 | 30講座 | 38講座 | 34講座 | 0講座 | 18講座 | |
| 3年度 | 活動計画 | 定員の半数で部屋を利用したり、接触者を明確にするなど、コロナ対策をとりながら託児を実施する。 | | | | 進捗状況 |
| | 活動実績 | 公民館主催講座、乳幼児・家庭教育学級等で託児付き講座を実施した。開講した際の託児の希望者は非常に多く、子供を育てながらも学びたいといった女性が増えていることが伺える。 | | | | D |
| | 課題等 | 託児を希望して講座申込をしてくれた受講者が託児付きで講座に参加できるように新規託児者の育成が必要である。また、受講生が安心して子供を預けることができるよう、社会情勢の変化を反映した託児現場の対応が必要である。 | | | | |
| 次年度の活動計画 | | 託児が必要な月齢の子どもを育てながらも自分らしく生きがいをもって生活できるような講座や託児付き講座を今後も開催していく。 | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | |
|----------------------|---|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|
| 職場の 施策 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 商工課 No.17 |
| 取組 | (2) 職場における女性活躍の推進 | | | | | | |
| 具体的な 取組内容 | 職場での女性活躍に向けた啓発・情報提供 女性管理職の拡大や女性の能力の活用について、県・関係機関が開催する講座などの情報収集に努め、商工会議所会報への掲載を依頼するなど、連携して企業・事業所などへの啓発を行い、女性の積極的な参加を促す。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの 達成目標 | 事業者が、女性の能力の活用に対する意識を高めることにより、女性が能力を発揮できる社会になる。 | | | | | | |
| 指標 | 県・関係機関が開催する講座等の啓発回数 | | | 指標の出典 | - | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | → - |
| 実績 | 3回 | 6回 | 7回 | 5回 | 6回 | | |
| 活動計画 | コロナ禍における労働講座の開催方法を愛知県と共に探り、講座開催を通じて、女性活躍の推進を目指す。 | | | | | | 進捗状況 |
| 3年度 活動実績 | 検温・手指消毒や換気等コロナ対策を徹底したうえで、「コロナ下における労働問題への対応」や、「男性の育児休業促進」をテーマに、県と共同で労働講座を開催した。 | | | | | | B |
| 課題等 | 企業のニーズに合ったテーマの選定 | | | | | | |
| 次年度の活動計画 | ニーズに合ったテーマを検討し、県と共同で労働講座を開催し、女性活躍の推進を目指す | | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | |
|------------------|--|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 商工課 No.18 |
| 施策 | (2) 職場における女性活躍の推進 | | | | | | |
| 取組 | 女性の起業支援の実施 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | アンフォーレ内に設置する「安城ビジネスコンシェルジュ（通称「ABC」）」において、Anjo創業支援ファームやKEY PORT（キーポート）と連携し、起業セミナーを開催する。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 多くの女性が起業することで、女性が活き活きと活躍できる社会が形成される。 | | | | | | |
| 指標 | 起業セミナー参加者数 | | 指標の出典 | | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | 30人 |
| 実績 | | 18人 | 11人 | 15人 | 15人 | | |
| 活動計画 | 引き続き、起業セミナーを実施し、起業者への支援を行い、起業者が活躍できる社会を目指す。 | | | | | | 進捗状況 |
| 3年度 活動実績 | 5日間にわたり、起業セミナーを開催し、受講生は起業に必要な知識、ノウハウを習得し、ビジネスプランをまとめた。 | | | | | | B |
| 課題等 | 起業のニーズを的確につかみ、ニーズに合ったセミナーを開催する。 | | | | | | |
| 次年度の活動計画 | 引き続き、起業セミナーを実施し、起業者への支援を行い、起業者が活躍できる社会を目指す。 | | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | |
|------------------|--|---|-------|-------|-------|-------|-----------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 商工課 No.19 |
| 施策 | (2) 職場における女性活躍の推進 | | | | | | |
| 取組 | 女性の就労支援・再就職支援等の実施 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 出産・育児・介護などで退職した女性の再就職を支援するための情報の発信を行うとともに、セミナーを開催する。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 退職した女性が、再就職に関する情報を得て、働けるようになる | | | | | | |
| 指標 | 再就職支援セミナー受講者数 | | | 指標の出典 | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | → 20人 |
| 実績 | 14人 | 13人 | 24人 | 32人 | 37人 | | |
| 活動計画 | 参加者が関心を引くテーマを選定し、セミナーをきっかけとした再就職への動機づけを引き続行う。 | | | | | 進捗状況 | |
| 3年度 | 活動実績 | 職場復帰又は再就職を検討している未就職の女性を対象に、2日間にわたり、女性の再就職サポートセミナーをオンラインで開催した。 | | | | | A |
| | 課題等 | 幼稚園・認定こども園へのチラシ配布以外の周知方法の検討 | | | | | |
| 次年度の活動計画 | 参加者が関心を惹くテーマを選定し、セミナーをきっかけとした再就職への動機づけを引き続行う。 | | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | |
|------------------|---|-------|------------|------------|-------|-------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | 担当課 | 人事課 N o.20 | | | |
| 施策 | (2) 職場における女性活躍の推進 | | | | | |
| 取組 | 安城市における「特定事業主行動計画」の推進 | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 市役所における職員の子育て支援、女性職員の活躍に向けた環境整備のため、「特定事業主行動計画」の目標達成（女性管理職割合増）に努める | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 女性職員が管理職員へ登用されることで、女性の個性と能力が十分に発揮され、活力のある組織になる。 | | | | | |
| 指標 | ① 管理的地位にある職員（課長補佐級以上）に占める女性職員の割合（再掲） | 指標の出典 | | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 目標 | <H28年度> | | | → 17% | | |
| 実績 | 11.6% | 11.3% | 9.9% | 8.3% | 9.6% | |
| 指標 | ② 市男性職員の育児休業等の取得率 | 指標の出典 | | | | |
| 目標 | <H28年度> | | | → 85% | | |
| 実績 | 81.3% | 90.5% | 77.3% | 95.5% | 86.2% | |
| 活動計画 | ①管理職の一つ前の職位である係長級への女性職員の登用を積極的に進める。 ②引き続き積極的に職員へ制度を周知する。 | | | 進捗状況 | | |
| 3年度 活動実績 | ①係長級の女性職員の登用を2名増とした。 ②出産に係る手続きの際、制度を周知した。 | | | ① D ② A | | |
| 課題等 | ①管理職の一つ前の職位である係長級の女性職員が少ない。 ②特別休暇ではなく、年次有給休暇を取得する職員がいる。 | | | | | |
| 次年度の活動計画 | ①引き続き、管理職の一つ前の職位である係長級への女性職員の登用を積極的に進める。 ②対象職員への所属長による面談を実施し、より積極的に育児休業等の取得を促す。また、令和4年度に予定されている休暇制度の改正にあわせて制度の周知を行う。 | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | |
|------------------|---|---|-------|-------|-------|-------|-----------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 農務課 No.21 |
| 施策 | (2) 職場における女性活躍の推進 | | | | | | |
| 取組 | 女性農業者への支援の充実 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 農業分野における男女共同参画、女性活躍が促進されるよう、希望する女性に対し、就農や農業経営等の支援を行う。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 農業に従事する女性が、農業という職業分野においても活躍できるようになる。 | | | | | | |
| 指標 | 家族経営協定の締結農家戸数 | | | 指標の出典 | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | 69戸 |
| 実績 | 62戸 | 66戸 | 67戸 | 70戸 | 73戸 | | |
| 活動計画 | 引き続き愛知県農業改良普及課と連携し、女性農業者のつどいなどの実施を図る。 | | | | | | 進捗状況 |
| 3年度 | 活動実績 | 新たに3家族の家族経営協定の調印を行った。 | | | | | |
| | 課題等 | 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、家族経営協定の調印式は書面開催となり、また、女性農業者のつどいは開催できずにいる。特に女性農業者のつどいは、女性農業者の情報交換、仲間づくりの機会の場として開催しているため、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じたうえで、気軽に参加できる場として引き続き開催したい。 | | | | | |
| | 次年度の活動計画 | 引き続き愛知県農業改良普及課と連携し、今年度開催できなかった女性農業者のつどいなどの実施を通じて、家族経営協定の締結等に関する啓発活動を行う。 | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | |
|------------------|--|-------|-------|-------|-------|-------|-------------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 契約検査課 No.22 |
| 施策 | (2) 職場における女性活躍の推進 | | | | | | |
| 取組 | 子育て支援や女性の活躍推進を行う企業への優遇策の検討 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 女性の活躍や子育て支援、ワーク・ライフ・バランス推進等に積極的に取り組む企業を評価する入札、契約制度の拡充を検討をする。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 市が、評価競争入札の評価で既に取り入れている「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」以外に「あいち女性かかやきカンパニー」等の制度に登録認定された企業を入れ、契約時の評価に加えることで、企業へ女性の活躍やワークライフバランスの啓発及び誘導できる。 | | | | | | |
| 指標 | 入札における加点対象企業数 | | | 指標の出典 | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 実績 | <H28年度> 26社 | | | | | | |
| 3年度 | | 32社 | 33社 | 33社 | 50社 | | |
| 活動計画 | 令和3年度の実施の結果を検証し、評価対象制度の拡充を検討する。 | | | | | | 進捗状況 |
| 活動実績 | 総合評価競争入札を62件実施し、参加業者数は32社であった。その内、「愛知県ファミリー・フレンドリー企業」及び「女性の活躍促進宣言」の何れかまたは両方で加点対象となった企業数は20社（63%）であった。 | | | | | | B |
| 課題等 | 登録企業数の増加を図るため、総合評価競争入札の評価項目の追加や評価方法の見直しを検討する。 | | | | | | |
| 次年度の活動計画 | 令和4年度の実施の結果を検証し、評価対象制度の拡充を検討する。 | | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | |
|------------------|---|------------------------------|-------|-------|-------|-------|----------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 商工課 №.23 |
| 施策 | (3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備 | | | | | | |
| 取組 | 各種制度（育児休業・介護休業等）の周知 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 仕事と育児・介護の両立を支援するため、育児・介護休業制度、パートタイム労働法、ファミリー・フレンドリー企業、再就職支援などの情報収集に努め、広報やチラシなどでPRし、制度などの取得・利用を促す。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 各種制度を周知することにより、労働環境の向上に結びつけ、男女共に仕事と家庭生活の両立を図る。 | | | | | | |
| 指標 | 各種制度についての広報及び啓発回数 | | | 指標の出典 | — | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | — | | → | | — |
| 実績 | 12回 | 8回 | 7回 | 14回 | 9回 | | |
| 活動計画 | 引き続きチラシを配布し、制度の理解を促す。 | | | | | | 進捗状況 |
| 3年度 | 活動実績 | チラシの配布を行い制度理解を促進した。 | | | | | |
| | 課題等 | 中小企業の各種制度構築に当たり、支障となる課題等の把握。 | | | | | |
| | 次年度の活動計画 | 引き続きチラシを配布し、制度の理解を促す。 | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | |
|------------------|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 子育て支援課 No24 |
| 施策 | (3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備 | | | | | | |
| 取組 | 男性の家事・育児等への参画に向けた学習機会の提供 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 男性の家事、育児、介護への参画を促進するため、講習会や学習機会の提供を行う。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 男性が、積極的に子育てや家事を楽しむようになる。 | | | | | | |
| 指標 | 「パパ講座」、「育メン広場」参加人数 | | | 指標の出典 | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 <H28年度> | | | | | | | 550人 |
| 実績 | 531人 | 318人 | 265人 | 63人 | 133人 | | |
| 活動計画 | パパ講座 3回/年（ベビーマッサージ、リトミックを楽しもう、音楽に合わせて親子で遊ぼう） 育メン広場 1回/月（手遊び、わらべ歌遊び、触れ合い遊び、大型絵本等） | | | | | | |
| 3年度 活動実績 | パパ講座 3回/年（ベビーマッサージ、リトミックを楽しもう、音楽に合わせて親子で遊ぼう） 育メン広場 1回/月（手遊び、わらべ歌遊び、触れ合い遊び、大型絵本等） | | | | | | |
| 課題等 | 新型コロナウイルス感染症対策のため、密を避けるため人数制限を行い開催しているが、新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、開催を検討していく必要がある。 | | | | | | |
| 次年度の活動計画 | パパ講座 3回/年（わらべ歌で遊びましょう、親子で遊びトレーニング、親子で元気体操） 育メン広場 1回/月（手遊び、わらべ歌遊び、触れ合い遊び、大型絵本等） | | | | | | |

※定員に対して参加率が低いので、他の講座の参加者にPRするなど、啓発に努める。

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | | |
|------------------|--|---|-------|-------|-------------------------------------|-------|-------------|--|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 健康推進課 No.24 | |
| 施策 | (3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備 | | | | | | | |
| 取組 | 男性の家事・育児等への参画に向けた学習機会の提供 | | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 男性の家事、育児、介護への参画を促進するため、講習会や学習機会の提供を行う。 | | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 夫婦が、妊娠期から出産後の妊産婦の心の変化や、育児について共に学び、お互いの役割と一緒に考えることができる。 | | | | | | | |
| 指標 | 夫婦でのパパママ教室参加率 | | | 指標の出典 | 夫婦でハリママ教室に参加した妊婦数 ハリママ教室に参加した妊婦数 | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | |
| 目標 | <H28年度> 92% | | | | | | | |
| 実績 | 94% | 94.3% | 93.2% | 94% | | | 90%以上 | |
| 活動計画 | 感染症対策を継続しながら、男性の家事・育児への参加に向けた学習機会を提供していく。 | | | | | | | |
| 3年度 | 活動実績 | パパママ教室べんきょう編に264人の夫の参加があった（妊婦281人中）。感染症対策を徹底し、安心・安全に受講できるよう努めた。母子手帳アプリ「あんぴよ」で発信している動画を夫婦で見てから参加してもらえるよう促した。 | | | | | | |
| | 課題等 | 継続して感染症対策を実施する。「あんぴよ」での教室予約や動画を利用していく。 | | | | | | |
| | 次年度の活動計画 | 感染症対策を継続しながら、男性の家事・育児への参加に向けた学習機会を提供していく。 | | | | | | |
| | | A | | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | |
|------------------|--|---|-------|-------|-------|-------|------------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 生涯学習課 №.24 |
| 施策 | (3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備 | | | | | | |
| 取組 | 男性の家事・育児等への参画に向けた学習機会の提供 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 男性の家事、育児、介護への参画を促進するため、講習会や学習機会の提供を行う。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 男性または女性が共に家庭生活を担うための講習を受けることで、男性の家事、育児等の参画への理解が促進する。 | | | | | | |
| 指標 | 男性の参画を促進するための講座実施数 | | 指標の出典 | | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | → 18講座 |
| 実績 | 18講座 | 25講座 | 29講座 | 12講座 | 33講座 | | |
| 3年度 | 活動計画 | 男性の家事・育児、介護への参画を促進する講座を継続して実施する。 | | | | | 進捗状況 |
| | 活動実績 | 土日に参加できる講座や夜間の講座等、働き盛りの男性も参加しやすい講座を多数開講した。また、土日に親子で参加できる講座を開催し、男性が育児に参加しやすいようにした。 | | | | | |
| | 課題等 | 男性でも参加しやすいように講座タイトルや内容に工夫しながら学べる機会の提供をする必要がある。 | | | | | A |
| 次年度の活動計画 | | 男女が家庭的責任を共に担うため、男性の家事、育児、介護への参画を促進する講座を継続して実施する。 | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | |
|------------------|--|--|-------------|-------|-------|-------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | 担当課 | 市民協働課 No.25 | | | |
| 施策 | (3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備 | | | | | |
| 取組 | 子育て世代の男性に対する家事・育児参画の促進 | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 仕事と家事・育児等の両立に配慮した働き方に関する啓発等を行う。 | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 子育て世代の男性が、家事・育児等の両立に配慮した働き方を認識することで、ワーク・ライフ・バランスのとれた生活をするようになる。 | | | | | |
| 指標 | ワーク・ライフ・バランスについての啓発回数 | 指標の出典 | — | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 目標 | ＜平成28年度＞ | — | — | — | — | → — |
| 実績 | — | 2回 | 2回 | 2回 | 3回 | — |
| 3年度 | 活動計画 | 研修や啓発物等で新型コロナウイルス感染症を踏まえた、ワーク・ライフ・バランスについて啓発を実施する。 | | | 進捗状況 | B |
| | 活動実績 | 新規採用職員研修会やユースカレッジ受講生への講義でワーク・ライフ・バランスを啓発した。 男女共同参画月間イベントでワーク・ライフ・バランスをテーマに講演会を開催した。 | | | | |
| | 課題等 | 企業向けパンフレットの情報が古くなっていくので、新しいパンフレットの作成が必要である。 | | | | |
| 次年度の活動計画 | 研修や啓発物等で、ワーク・ライフ・バランスについて啓発を実施する。 第5次男女共同参画プラン策定に合わせ、新しいパンフレットの作成を検討する。 | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | |
|------------------|---|------------------------------|-------|-------|-------------------------|-------|-----------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 商工課 No.25 |
| 施策 | (3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備 | | | | | | |
| 取組 | 子育て世代の男性に対する家事・育児参画の促進 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 仕事と家事・育児等の両立に配慮した働き方に関する啓発等を行う。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 子育て世代の男性が、働き方を見直し、男女共に仕事と家庭生活の両立を図るようになる。 | | | | | | |
| 指標 | 働き方に関する広報・啓発の実施回数 | | 指標の出典 | | 広報、商工会議所会報、各種窓口でのチラシの設置 | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | → | | | | |
| 実績 | 6回 | 8回 | 5回 | 7回 | 11回 | | |
| 3年度 | 活動計画 | 引き続きチラシを配布し、制度の理解を促す。 | | | | | 進捗状況 B |
| | 活動実績 | チラシの配布を行い制度理解を促進した。 | | | | | |
| | 課題等 | 中小企業の各種制度構築に当たり、支障となる課題等の把握。 | | | | | |
| | 次年度の活動計画 | 引き続きチラシを配布し、制度の理解を促す。 | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | | |
|------------------|---|---|-------|-------|-------|-------|-------------|------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 市民協働課 No.26 | |
| 施策 | (3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備 | | | | | | | |
| 取組 | 働き方の見直しのための啓発 | | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 企業に対し有給休暇、ノー残業デー制度等の取得を促す。 | | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 事業者が制度を整備することで、働く人のワーク・ライフ・バランスがとれるようになる。 | | | | | | | |
| 指標 | 有給休暇・ノー残業デー制度等の啓発回数 | | | 指標の出典 | - | | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | |
| 目標 | <平成28年度> | | | | | | → - | |
| 実績 | - | | 1回 | 1回 | 1回 | 1回 | | |
| 3年度 | 活動計画 | 商工会議所に、新型コロナウイルス感染症を考慮した、ワーク・ライフ・バランスを啓発をするパンフレットを配布する。 | | | | | | 進捗状況 |
| | 活動実績 | 愛知労働局主催の改正育児・介護休業法をテーマとする企業向けセミナーのチラシを商工会議所に配布した。 | | | | | | B |
| | 課題等 | 現状に合った新しいパンフレットの作成が必要である。 | | | | | | |
| 次年度の活動計画 | | 企業配布用に有給休暇促進、ノー残業デー等の制度を啓発するパンフレットの作成を検討する。 | | | | | | |

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

| | | | | | | | |
|------------------|---|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|
| 基本目標 | 3 男女共同参画社会の実践 | | | | | 担当課 | 商工課 No.26 |
| 施策 | (3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備 | | | | | | |
| 取組 | 働き方の見直しのための啓発 | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | 企業に対し有給休暇、ノー残業デー制度等の取得を促す。 | | | | | | |
| 男女共同参画の視点からの達成目標 | 労働者が、働き方を見直すことにより、男女共に仕事と家庭生活の両立を図れるようになる。 | | | | | | |
| 指標 | 県下一斉ノーギャバーデーの啓発回数 | | 指標の出典 | | — | | |
| 基準年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | |
| 目標 | <H28年度> | | | | | | → 1回 |
| 実績 | 1回 | 1回 | 2回 | 3回 | 4回 | | |
| 活動計画 | 有給休暇取得を促す、ポスターチラシによる啓発を行う。 | | | | | | 進捗状況 |
| 3年度 活動実績 | 愛知労働局からの有給休暇取得を促すチラシを配布し、庁舎内にポスターを掲出し機運の醸成を図った。 | | | | | | A |
| 課題等 | 継続して周知を進めることで、今後ますます各種制度の理解が深まるよう取り組みを進める。 | | | | | | |
| 次年度の活動計画 | 有給休暇取得を促す、ポスターチラシによる啓発を行う。 | | | | | | |